

磐城時報

編輯人 岡田弘成
印刷所 磐城時報印刷所
發行所 磐城時報發行所
電話 磐城時報電話
廣告料 一月十四元 三月三拾元 半年六十元 一年九十元
日刊(日曜、祭日)休刊

築港問題險惡となり 四倉町民憤慨 町會議員に總辭職を迫る

石城郡四倉漁港築港については、地元四倉町に於て數年間多大の犠牲を拂つて政府に運動した結果、果工費四十五萬六千圓の内、國庫補助二十二萬八千圓、縣補助十五萬八千圓、地元寄附七萬圓で昭和六年度から三ヶ年間の繼續事業として着工される事に決定した。政府では四倉港修築補助を取消し、松川浦漁港にのみ補助を與へると方針を變更した事が事實らしい事を知つたので、四倉有志は大いに驚き七日町漁業組合長長谷川寅次郎氏が出陣したが、地元民も大いに憤慨しかゝる結果を招いたのは四倉町議員が無能であるためであるから總辭職をせよといきまいてゐる。

六千圓の慰籍料請求 第一回公判は二十日開廷

石城郡平窪村字中平窪松本太野三村長と統計上の打合せを遂げ、その實父清作(三四)は去る三月十五日未明平町橋邊小路常磐線踏切で轢死した事當時の報導の通りであるが、之は鐵道側の過失である。平町増田辯護士を代理とし鐵道大臣を相手どり六千圓の慰籍料請求訴訟を平支部に提起したが公判は二十四午前十時開かる。

夏期臨時列車 平・四倉間に

石城郡各海水浴場では準備萬端を整へ海水浴客の誘致につとめ、平驛では旅客の便利を圖り臨時列車の増發を計劃その筋に交渉中であつた所來る二十六日、八月二日、九日、十六日、廿三日、三十日各日曜日運轉と決した。が區間日割等左の如し

木村代議士 議會報告演說會

石城郡選出政友會代議士木村清治氏は十九日午後一時から内郷村磐城座で議會報告演說會を開くが、應援のため本部から大臣級の特派員が來郡する。

北海道鑛業視察

常磐炭礦木曜會有志四十數名は十三日上野驛發列車で北海道方面の鑛業視察の途に上るが、磐城炭礦から菅原高次郎所長、入山炭礦から渡邊寛一郎取締役一行に加はる。

平町役場委員會

平町役場新築に關する委員會は八日午前十時から開き移轉に關する協議を遂げた。

鐵道大臣を相手に

平町増田辯護士を代理とし鐵道大臣を相手どり六千圓の慰籍料請求訴訟を平支部に提起したが公判は二十四午前十時開かる。

理髮會計 整理委員會

平警察署管内理髮組合會計事務の整理委員會は十日午前十時から平町マルトモホールに開くが、委員は木村由三郎外十數名の由時開かる。

吉田課長來平

縣吉田内務部長は八日平町に來り、小名濱、江名、豊間の各町村消防事務所に於て飯野、豊間、草防施設を視察する。

内郷消防視察

石城郡内郷消防組幹部十六名は九日、吉田課長に來り、小名濱、江名、豊間の各町村消防事務所を視察する。

松の古木を中心に 四倉署に告訴ゴッコ

石城郡四倉町字仲町長谷川長太入ると各地方の専門學校大學理切番八錦織熊治の養父内郷村大字宮居住錦織豊次(七〇)は七日に生木田徳之助の世話で同村木田が本年は磐城炭礦に十二名、入龍治方を訪れたが同夜熊治方裏の松立木價格八十圓で買ひ受山炭礦に十一名早やくも秋田礦手に細紐を吊して縊死したのを去る四日之を伐材した處木田専、仙臺高工等から申込んで來八日朝發見平署に届けられた。同猛は賣つた覺がないと長谷川をたのを初めとして遠く關西、九人は再三豊次に金を無心するた相手取り四倉署に告訴したが、木田は材伐した木材を長谷川に十餘名の實習申込みがある由で無断で自宅に運んだのを知つた。長谷川はアベコベに木田猛を相手取り四倉署に窃盜の告訴をなした。

安いのも道理 商品は全部盗んだもの 安賣行商人... 實は泥棒

平町立町カルメ饅業前科二犯等も時價より三四割の安値で行馬捨次郎(四八)は萬引犯人とし商を営んで来たもので本年のカで平署に捕はれた事既報の如く、カは久しい前から廢業してあるが、同人は釜屋商店から馬鹿安値の行商人として評判を博して来た男であつた。

簡閱点呼日割 四倉署管内陸軍簡閱点呼日割左

▲二十六日(久濱校に於て)久濱町、大久村、
▲二十七日(四倉校に於て)四倉町、大野村、大浦村、草前後數十回に亘り鍋類を窃取し博して来た男であつた。

常磐各礦に 夏期實習生

磐城地方炭礦には夏の休暇期にした洋傘、帽子、シャツ、洋服一八假名)強盜殺人強姦被告事

模範的の公民學校 職員と生徒の勞働で經營

職員と生徒の勞働で經營 理想郷建設の第一歩
全く自給自足で學校を建設した本縣は勿論全国的にも珍らしい實業公民學校である。その學校こそ石城郡三坂實業公民學校であるが校長蛭田三郎氏及び全生徒が農事をして學校全体の經費を捻出してゐるものである。同校では昨年四月初めて蛭田校長と全生徒徒で繩なへ、炭糞編み、養蠶

搔搥小路で 首を縊る

平町橋邊小路二十二番地鐵道踏切番八錦織熊治の養父内郷村大字宮居住錦織豊次(七〇)は七日に生木田徳之助の世話で同村木田が本年は磐城炭礦に十二名、入龍治方を訪れたが同夜熊治方裏の松立木價格八十圓で買ひ受山炭礦に十一名早やくも秋田礦手に細紐を吊して縊死したのを去る四日之を伐材した處木田専、仙臺高工等から申込んで來八日朝發見平署に届けられた。同猛は賣つた覺がないと長谷川をたのを初めとして遠く關西、九人は再三豊次に金を無心するた相手取り四倉署に告訴したが、木田は材伐した木材を長谷川に十餘名の實習申込みがある由で無断で自宅に運んだのを知つた。長谷川はアベコベに木田猛を相手取り四倉署に窃盜の告訴をなした。

鎌田山林で 大掛りな賭博

七日午後二時頃神谷村鐵田山林中賭博を開帳してゐる事を平署で探知し猪狩、半澤、菊地の三刑事逮捕に向つたが現場に踏み及ぶや數名は何れも逃走を企て前科七犯渡邊紋四郎(四七)を鎌田橋まで追跡して捕えた。同人は賭博常習犯で嘗て平町六丁目熱心湯で賭博開帳中平署員に踏み込まれ逃走中のお尋ね者であつた。

老婆殺し 控訴公判

石城郡錦村大字中田助川治助(み込まれ逃走中のお尋ね者であつた。)

老婆殺し 控訴公判

を得、實に一般補習教育の缺陷たる農業設計、生産品原理の實地指導まで出來得るやうになつてゐる。之がため部落民は同校の指導に順應し實行組合を組織し、毎朝板木を合圖してをり、實に地方教化の中核となつたものであるが、入學生徒は同校の經營に共鳴し、東白河郡宮本村からも通學するやうになつて居る。其上田如五反六畝歩の小作をし小作人の單位で農民としての眞の精神を發揚せしめてゐるが、本年は右の實收で教育上の完壁を期すべく諸設備をなし尚

改築と増築の御挨拶

長い間休業致しまして誠に御申譯御座いません。今度面目を一新致しました。皆様のカフエー松ヶ岡は 断然 完全なる設備を以て 完全なるサービスを以て 名實共にカフエーとしての御氣分を満喫出来ませう様に懸命の努力を以て皆様を御待ち致して居ります。

皆様の御期待 カフエー

に副ふ 松ヶ岡 歡樂の殿堂

出前は従来の通り迅速と勉強を以て 八日より開店

磐城 本期節物仕込廣告

今夏は鯉以外の大漁にて鯉節も非常な安値に候ため期節物豊富に仕入れ大々的に勉強仕候間御用命の程願上候

一、磐城名産鯉節

本期節物 一貫金五圓

御祝儀用節は編み料特に勉強仕候 今年は絶対に品切れせざるやう豊富に仕入候間多少に拘はらず御用命仰付り下され度く箱入物調製のため上等箱用意致置候 右に知らせまで申上候

平町二丁目

藤市 遠藤市松 電話三〇五番

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八八番

外科 一般外科 内臓外科 性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり) 元赤心堂病院跡

安齊外科醫院

電話四七五

度量衡計量器 吸入酸素器

關内藥局 電話四〇番

外科 花柳病科 専門

平町六丁目橋際 木村外科醫院 電話三〇九番

高久病院

平町田町(電話五二三番) 醫學士 高久 赤羽 雄清 新湯醫學士 藥劑士 佐竹 菊雄 内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

二葉印刷所

平町仲町・電話一九三番

胃腸科 専門

腸胃科 腸胃病 十二指腸病 胃性病 痔瘻病 淋病 婦人病 皮膚病 院醫科 村松 電話(七〇一五)

梅毒 専門

皮膚病 院醫科 電話(七〇一五)

貸家廣告

平町新川町三十番地 一階 建(商店向き) 家賃十五圓五十錢 同十八番地 商店向き(十五圓) 同三十番地 二階 建(勤人向き) 家賃五圓五十錢 同十七番地 勤人向(六圓五十錢) 同三十一番地 勤人向(五圓) 平町新川町 中野勇吉 電話一三三番

萬難を排して遂に後篇に直るに續映

待三 後篇 完決

大河内傳次郎・梅村蓉子・近來の作 監督 伊藤大輔・原 氏正

御入場券 普通席二十錢 金十六錢 便利店 吾妻屋モノタ店 印刷物は………加納活版所

浪花かすみ 全 落第はしたけれど 全

七月十日ヨリ……五日間 夏衣大賣出し

木綿。吳服類を豊富山積し最廉價を以て 全店品一齊に大提供!!!

三井のわつこめ品 白綿浴衣地 五〇 模様銘仙 二二八 鏢格子浴衣地 六八 男羽織 二二八 手拭中形 五五 本場明石 五五 東京中形 七五 本場明石 五五 上等ポイル中形 二〇 絹長ジパン 四〇 絹小紋 七五 絹名古屋帯 一五〇 絹丸帯 八〇

三井呉服店

平町 電話三八番 二八四番